

兵庫県養成医師を対象としたキャリア形成支援のための研修会
村岡病院報告

公立村岡病院は 42 床の病院で香美町村岡区、小代区が診療対象地域です。現在、村岡病院は石田院長、県養成医師 2 名、八鹿病院の総合内科プログラムから 1 名の計 4 名の医師がおります。業務は外来が 1/2、入院が 1/4、訪問診療が 1/4 と他の病院と比べると訪問診療が特徴の病院です。訪問診療は計 100～110 名程を分担しております。通院が難しくなった患者様を、往診にスムーズに切り替えることができ、自分で引き続きフォローできるのは村岡病院の最も大きな魅力だと思います（当方も 2 ヶ月で既に 2 人ほど往診に移行しております）。「人生会議」「フレイル対策」といった比較的新しい概念を院長が積極的にとりいれ、実践に移されていることも特徴の一つです。時間外・休日救急はかかりつけ患者のみの対応、地域包括ケア病棟の拡充等、病院の診療をより高齢化する地域に合わせて対応されております。

村岡病院を中心とした医療コミュニティの維持を行うことが、県養成医師の主な役割です。院長からも「良いと思うことはすべてとりいれて欲しい」と言われておりますので、ワクチン、骨粗鬆症予防薬、ビデオ付き喉頭鏡の導入を含めた薬品、備品の導入を適宜行っていたいております。

現在は診療がメインとなっておりますが、COVID-19 が 5 類感染症となり社会的な落ち着きをみせはじめていることから、健康教室等での医療情報の提供ができたらと考えております。患者様は超高齢の方が多いのと気質的なことあってか、当院でできることのみを希望されることが多く、現時点では県養成医師間の関わりを感じる機会はそれほど多くありませんが、周囲に自分と同じ養成医で頼れる方がいることは有り難いことだと日々思います。

現時点でのご報告となります。

報告記載日：2023 年 6 月 6 日

報告書記載者；公立村岡病院 後期派遣 1 年目 安田 矩明